



獣医  
学科

## 獣医生理学研究室

K E Y  
W O R D

内分泌/下垂体/卵巣/遺伝子発現/ホルモン/  
脂質メディエーター/妊娠/分娩/泌乳

研 究  
テ ー マ

齧歯類をモデルとした生殖内分泌研究  
分子・細胞・器官・個体レベルでの生殖制御機構の解明

ミッション

産業動物やヒトへのトランスレーショナル研究を目指した、正常および遺伝子改変齧歯類動物を用いた生殖機構についての基礎研究

生物の生存意義は個体の維持と種の存続にあります。後者の機能、すなわち生殖は種においてとてもバラエティに富んだ様式で遂行されます。獣医学や畜産学が主に扱う哺乳類に限っても、母体内での胎生、並びに泌乳というとても特徴的な様式が取られ、雌雄成体の性腺における生殖細胞の発育に始まる数多くのプロセスが全て成功裏に進んでいくことが必須となります。生殖は原則、個体レベルの表現型となりますが、本研究室では、生殖における様々なプロセスの基本メカニズムを分子・細胞・器官のレベルから掘り下げて解析しています。産業動物やヒトとの関連性や応用を念頭に置きながら、小型げっ歯類を用いた基礎研究を行っています。